



東京都立町田の丘学園校長
緒方 直彦
コーディネーター
相談支援部
第1号 令和3年6月4日発行



新緑が目に見え鮮やかな季節になりました。今年はいつもより季節の進みが早い気がします。桜も例年は新入生を迎えるように咲いてくれるのですが、今年は卒業生を見事な桜吹雪で送ってくれていました。心なしか季節にもせかされているような気持ちになります。

新型コロナウイルス感染症の状況も予断を許さず、対策に気を張り詰める毎日です。今年度の学校間の交流行事については、交流人数や施設の換気・ソーシャルディスタンスなどを工夫しつつ、計画しています。これまでの取り組みの中で沢山のノウハウを得ることができましたので、昨年度のように中止・延期ではなく、ICT機器の活用や作品交流なども織り交ぜながら、進めていきたいと思えます。副籍の直接交流に関しても、交流する子供たちや副籍校の状況がそれぞれ違いますので、安心・安全を第一に個別に相談させていただきたいと思えます。

みんなで沢山の工夫を出し合ったので、子供たちにも保護者の方にも教員にも、ICT機器の使い方を覚えたり、アプリをインストールして操作手順を覚えたりと、新しい取り組みが目白押しです。これも「面倒くさいな、やりたくないな」と思うとストレスになりますが、「好奇心が刺激される」と思うと活力の源になります。そういった目で見てみると、コロナ禍の今は「新しい事」を始めるのには絶好の環境です。新しく始めた事を、書き出してみてください。結構な数になっているはずですよ。役立ったことは是非、周囲の人に教えてあげてください。



令和3年度 学校間交流の予定

町田の丘学園では、町田市立の特別支援学級が設置されていない小学校・中学校と2年ごとの輪番制で学校間交流を行っています。本来は2年ごとに交流校が変わりますが、昨年度新型コロナウイルス感染症防止のため中止となったこともあり、今年度は一昨年度から継続して鶴川第三小学校と金井中学校と学校間交流を行います。また、知的障害教育部門小学部は山崎校舎の近隣小学校である七国山小学校と毎年継続して学校間交流を行っています。

今年度の小学部・中学部の学校間交流の予定は以下の通りです。

＜鶴川第三小学校＞ 日時 令和3年9月17日（金）

本校舎の肢体不自由教育部門（A部門）小学部と交流します

＜金井中学校＞ 日時 令和4年2月3日（木）

山崎校舎の知的障害教育部門（B部門）中学部と交流します

＜七国山小学校＞ 日時 令和3年10月19日（火）

山崎校舎の知的障害教育部門（B部門）小学部と交流します



また、高等部は、近隣の都立高校である野津田高校の福祉科の生徒と交流をしています。知的障害教育部門（B部門）高等部の作業学習の授業と一緒に活動したり、肢体不自由教育部門（A部門）高等部のボッチャの授業で交流したりしています。

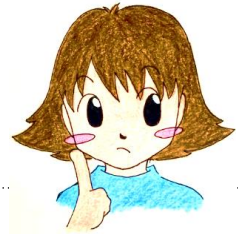
交流教育連絡会

交流教育推進校（町田の丘学園）と上記4つの交流校の管理職や交流担当の先生方、PTA役員の方々と町田市教育委員会の方を交えてそれぞれの交流活動について情報共有したり、今後の交流に向けた話し合いなどをしたりします。交流を通して感じた共生社会に向けた思いなどを、それぞれの立場で語り合います。今年度は2回実施を予定しています。

＜第1回＞日時 令和3年7月9日（金）

＜第2回＞日時 令和4年2月3日（木）

副籍制度ってなあに？



～副籍交流について知ろう！基本のき～

☆副籍制度とは・・・

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が居住する地域の小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）をもち、交流を通じて居住する地域とのつながりを維持・継続するための制度です。

副籍制度が目指すのは、特別支援学校に在籍する児童・生徒も、地域の小・中学校に在籍する児童・生徒と同じように「地域の子供である」という理念を共有し、交流を通じて互いを認め合い尊重し合う経験を通して相互理解する中で「豊かな心」を育むこと、互いに支え合って生きる共生地域の実現です！



☆この副籍制度のもとで行われる交流が副籍交流です！

副籍交流には大きく分けて二つの方法があります。間接的な交流（間接交流）と直接的な交流（直接交流）です。

- 間接交流：地域指定校に籍を置き、学校便りや学年便りのやり取りを中心とした交流のことです。本校では、町田市の交換便を使って月に1回程度（年間10回程度）お便りの交換を行い、地域指定校からきたお便りは各御家庭に配布しています。
- 直接交流：地域指定校の行事や授業などに参加する参加型の交流です。学校便りや学年便りを地域指定校に持参し、直接クラスの児童・生徒に渡したり、挨拶をしたりする短時間の直接交流を行っているケースもあります。直接交流をする場合は、事前に「顔合わせ」を行い、地域指定校の担任の先生方と児童・生徒本人、保護者の方が「どのようにしたらスムーズに交流ができるか？」を一緒に考えてから交流を始めます。

副籍交流では、小・中学部を卒業後も地域で生活し、地域の方々と共に生活をしていくことを考え、顔合わせの同席や交流の付き添いなど、保護者の方々に積極的な協力をお願いしています。

特別支援学校の児童・生徒と地域の小・中学校の児童・生徒が互いを認め合い、共に支え合って生きる社会の形成に繋げるべく、副籍制度の趣旨を御理解いただき、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。



町田の丘学園にキャラクターが誕生しました！

題字の所にも登場してもらいましたが、町田の丘学園に二つのキャラクターが誕生しました。名前は「まちりん」「おかりん」です。緑豊かな町田の丘学園にぴったりのキャラクターです。可愛がってあげてください。

まちりん



おかりん



特別支援教育コーディネータの紹介

本校舎

特別支援養育コーディネーター 旭岡善介（ひのおかぜんすけ）

町田の丘学園も13年目となり、昨年度には私と一緒に町田の丘学園に入学してきた小学校1年生の、高等部卒業を見送りました。小中高とある本校で子供たちの成長を見守り続けられた事を、とても嬉しく思っています。皆さんを支援する制度は沢山ありますが、それを上手に使うのは思った以上に大変です。冊子やインターネットの情報だけではわからない部分を、少しでもお手伝いができるといいと思っています。困ったことがあったら、いつでも声をかけてください。

山崎校舎

特別支援教育コーディネーター
大澤紘子（おおさわひろこ）

すべての児童・生徒が毎日あふれんばかりの笑顔で過ごせる学校や地域づくりが目標です！少しでも皆さんの育ちの支援ができれば嬉しいです！一年間よろしくお願ひいたします。

山崎校舎

特別支援教育コーディネーター
大澤裕子（おおさわゆうこ）

昨年度より中学部のコーディネーターを担当させて頂いています。児童・生徒、保護者のみなさんのいろいろな橋渡しのお手伝いできたらと思っています！どうぞよろしくお願ひいたします。

<お問合せ先> 東京都立町田の丘学園相談室(地域・進路コーディネーター)

○本校舎

旭岡	善介（ひのおか	ぜんすけ）	地域コーディネーター
萩原	秀朗（はぎわら	ひであき）	進路コーディネーター
木下	美夏（きのした	みか）	進路コーディネーター

〒195-0063 東京都町田市野津田町 2003
電話 042-737-0570 FAX 042-737-0580

○山崎校舎

大澤	紘子（おおさわ	ひろこ）	地域コーディネーター
大澤	裕子（おおさわ	ゆうこ）	地域コーディネーター

〒195-0075 東京都町田市山崎 1-2-17
電話 042-792-4260 FAX 042-792-4264